

ハイキング部だより

第155回

平成28年(2016年)9月3日(土)～ ホテイアオイ鑑賞と今井町の街並み

コース：八木西口駅～今井町～神武天皇御陵～ホテイアオイ群生地～
本薬師寺～おふさ観音～八木駅(約12キロ)

参加者 23名

近鉄八木西口駅10時出発。飛鳥川にかかる蘇武橋から最初の目的地今井町にさしかかると橋の袂に樹齢420年の榎の木が迎えてくれました。

今井町は、重要伝統的建造物保存地区に指定されており、その成立は戦国の世、天文年間(1532～1555)この地に向宗の今井豊寿によって寺内町が建設されたことに発します。一向宗の門徒たちは、自衛の武力を持ち、壕をめぐらし商業都市として大いに栄えました。江戸時代には堺と並び自治的特権が認められ年寄が置かれて町政を担いました。今回は、一般公開している豊田家を見学することにしました。歴代当主が収集した江戸時代中期から明治初期の書画、骨董、陶器などの古美術を見学しました。12代当主が案内してくれました。

続いて先ほど皇太子殿下ご一家が参拝された神武天皇御陵に向かい、そこで記念写真を撮り、途中で昼食をとりました。例によって歌をうたいましたが今回は、益田市歌を今年の総会でご披露できたらと思って練習しました。

次にホテイアオイの群生地に向かいました。今まさに満開というところ大勢の見物客で賑わっていました。ホテイアオイは、南アメリカ産の水草で、葉柄が布袋に似ているところからこの名前がつけましたが原名はウォーターヒヤシンスです。水質を浄化する性質があります。

最後に訪れたおふさ観音は、ぼけ封じの観音さんで、春秋のバラまつり、夏の風鈴まつりで有名なところです。このあと近鉄八木駅に向かい午後3時ごろ解散しました。









第155ハイキングは下記の計画で実施しました

～ ホテイアオイ鑑賞と今井町の街並み ～

日 時： 平成28年9月3日(土) 午前10時 近鉄「八木西口駅」集合

コース： 八木西口駅～今井町～神武天皇御陵～橿原神宮～
ホテイアオイ群生地～本薬師寺～おふさ観音～
八木西口駅またはJR畝傍駅(約12キロ)

今回は、水草「ホテイアオイ(布袋葵)」を鑑賞するウォーキングです。

ホテイアオイは、南アメリカ原産の水面に浮んで生育する水草で、花が青く美しいので観賞用に栽培されます。本薬師寺周辺の水田に約14000本のホテイアオイが8月中旬から9月中旬にかけて咲きます。また、今井町の街並みは江戸時代そのままに残されており、時代劇の撮影などにも使われ「重要伝統的建物群保存地域」に選定されています。

